

# 施策評価シート（令和4年度実績）

施策名 **施策4 青少年が健全に成長し、活躍できる地域をつくる**

施策コード

010004

1. 施策の体系と担当課		
第5次総合計画	将来像	1 心豊かな人が育ち ふるさに誇りと愛着を感じるまち
主管課	教育部	青少年教育課
関係課	教育部	社会教育課、教育部 青少年人権教育交流館

2. 施策の目標	
10年後の目標	<p>地域の子どもは地域で見守り育てるという意識が高まり、地域団体の多様な連携と自主的な活動が進んでいます。放課後や休日における子どもたちの居場所があり、そこで友人たちと過ごす子どもたちがコミュニケーション能力を高め、次の世代の指導者として育っています。青少年が健全に成長することで、若者が地域でいきいきと活躍しています。</p>
10年後の目標に向かった主な取組み	
市の取組み	<p>○青少年健全育成について、家庭・地域・学校・関係機関と連携した啓発活動を推進します。          ○青少年健全育成関係団体の活動を支援するとともに、新たな団体・個人が活動に取り組むよう啓発を行います。          ○地域における青少年育成の指導者やボランティアの人材発掘、育成を行います。          ○悩みを抱える青少年の健全育成のため、家庭・地域・学校の連携を深めます。          ○子どもの居場所づくりと、協調性やコミュニケーション力を高める体験活動を行います。</p>
市民・団体・事業所等の取組み	<p>○大人としての責任と自覚ある生き方を青少年に示します。          ○青少年健全育成関係団体は、地域における人間関係の構築、規範意識の醸成のための事業を実施します。また、後継者の育成に努め、組織の強化を図ります。          ○地域で活動する各種団体は、青少年を有害環境から保護する活動や、子どもの安全を見守る活動などを通じ、自主的な活動と組織の強化に努めます。</p>

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	<p>2020年3月に大阪府青少年健全育成条例が改正され、社会全体で青少年を健やかに育むため、大人に青少年を有害な環境から守る責任が今まで以上に求められるようになり、社会の中での青少年の占める位置と大人の責務が変化している。</p>
新たな市民ニーズ	<p>地域のつながりが希薄化する懸念がある中で、地域で青少年の健全育成に携わる青少年指導員の方々のスキルアップの機会を増やすことで、様々な相談について、今まで以上に適切な対応ができるよう求められている。          講座事業等が、学校も学年も違う子どもたちが交流し、様々な個性をもった子ども同士がお互いを理解し尊重できる場となることが求められている。</p>

4. 施策にかかるコスト								
			単位	R3予算	R3決算	R4予算	R4決算	R5予算
コスト の内訳	投入人員	正職員数	人		6.84		6.88	
		会計年度任用職員数			4.58		4.68	
	人件費	直接人件費	千円		55,503		58,044	
		間接人件費			10,004		10,415	
	直接事業費			18,988	15,403	19,551	37,406	22,695
	間接事業費				691		1,424	
	フルコスト				81,601		107,289	
財源 内訳	使用料及び手数料			千円	84		73	
	国庫支出金							
	府支出金		903		2,975	1,042	1,379	1,061
	市債							
	その他		337		157	421	181	1,871
	一般財源 1（＝フルコスト －特定財源）				78,469		105,729	
	一般財源 2（＝直接事業費 －特定財源）		17,664		12,271	18,015	35,846	19,690
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1		講座・イベント参加者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人	毎年度	72,000	維持	58,234	71,246	72,000	72,000
成果指標2							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和4年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）			
放課後子ども教室推進事業  （社教）	放課後子ども教室の参加人数（子ども・大人の合計）			1,181	1,275	2,079	2,751	成果	B：現状維持	コロナ禍により教室の実施や参加人数に影響を受けたが、今後もボランティアの募集に力を入れ、地域で子どもたちの成長を育てていく。
	R4実績	11,021	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			2,538	2,871	3,208	0			
青少年センター講座開催事業  （青教）	講座参加人数			2,951	2,800	5,101	2,548	成果	A：向上を図る	コロナ禍により講座の実施や参加人数に影響を受けたが、今後はコロナ以前の実施に戻すと共に中高生の講座参加者増加を推進していく。
	R4実績	4,647	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			6,287	6,973	6,096	0			
青少年指導員連絡協議会事業  （青教）	会議・パトロール等への青少年指導員参加率			973	935	952	942	成果	B：現状維持	コロナ禍によりパトロール活動に大きく影響を受けたが、今後はコロナ以前の活発な活動に戻るよう努める。
	R4実績	61	%					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			3,686	3,779	3,158	0			
こども会育成会育成事業  （青教）	行事総参加人数			427	375	454	389	成果	A：向上を図る	コロナ禍によりイベントの実施や参加人数に影響を受けたが、今後はコロナ以前の実施に戻すと共に皆が参加しやすいイベントの実施を推進していく。
	R4実績	97	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			3,022	3,135	3,441	0			
青少年野外広場維持管理事業  （青教）	こども広場利用人数			248	252	17,253	390	成果	B：現状維持	コロナ禍により利用人数に影響を受けたが、現在は、少年野球や子ども遊び、老人会グラウンドゴルフなど多世代で効率よく利用ができている。
	R4実績	12,018	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			2,636	2,582	2,451	0			
はたちの集い開催事業  （青教）	大人のつどい参加率			1,173	1,246	1,325	1,206	成果	B：現状維持	コロナ禍の中でも実行委員の努力により開催を続けることができた。今後も実行委員会形式で手作りの「はたちの集い」を継続していく。
	R4実績	83	%					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			4,553	5,439	5,146	0			
少年の主張大会開催事業  （青教）	少年の主張来場者数			197	209	228	239	成果	A：向上を図る	コロナ禍の中でも感染拡大防止対策により開催を続けることができた。今後も市内11小学校校代表の発表による少年の主張大会を継続していく。
	R4実績	230	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			2,730	3,497	2,593	0			
吹奏楽団育成事業  （青教）	定期演奏会入場者数			794	1,037	1,271	1,290	成果	A：向上を図る	コロナ禍により活動実施やイベント開催に影響を受けたが、コロナ以前の活動に戻し、YouTube配信をするなど本楽団の演奏を多くの方に聞いてもらえるよう努める。
	R4実績	650	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率			3,269	2,818	2,301	0			

青少年健全育成補助事業 (青教)	スカウトのべ活動参加者数			30	30	30	45	成果	B：現状維持	コロナ禍によりスカウト活動の実施やイベント開催に影響を受けたが、コロナ以前の活動に戻るよう支援していく。
	R4実績	130	人							
	最終目標値に対する達成率	86.6%		1,341	1,427	570	0	資源配分	B：現状維持	
青少年国際交流事業 (青教)	カルバーシティ市とのメール送受信回数			0	0	624	3,536	成果	A：向上を図る	令和4年度から交流を再開することができた。今後は交流時期や体制を見直し、無理なく長く交流していけるよう相互交流を促進していく。
	R4実績	42	回							
	最終目標値に対する達成率	-		3,853	1,409	3,795	0	資源配分	B：現状維持	
高校生海外留学支援事業 (青教)	留学支援金申請者数			0	0	0	1,000	成果	A：向上を図る	ガバメントクラウドファンディングへの寄付により実施できている事業であるため、事業成果を広くアピールし寄付金の増加を図っていく。
	R4実績	9	人							
	最終目標値に対する達成率	-		0	0	1,765	0	資源配分	A：資源を拡大	
青少年人権教育交流館庶務事業 (青人)				0	0	0	0	成果	評価対象外	
	R4実績									
	最終目標値に対する達成率			0	0	0	0	資源配分		
青少年人権教育交流館運営事業 (青人)	館利用者数			2,390	2,720	3,339	3,228	成果	A：向上を図る	コロナ禍により利用人数に影響を受けたが、今後は、コロナ以前の状況に戻るよう、事業内容などを工夫し、利用者の増加に努める。
	R4実績	17,676	人							
	最終目標値に対する達成率	44.1%		4,374	3,593	3,841	0	資源配分	B：現状維持	
低学年育成事業 (青人)	日常活動参加延べ人数			2,362	2,517	2,665	2,902	成果	A：向上を図る	コロナ禍の中でも、感染拡大防止のための工夫をしながら、活動回数を確保した。引き続き、協調性やコミュニケーション力を身につけるための活動の充実を図る。
	R4実績	8,292	人							
	最終目標値に対する達成率	58.8%		8,528	11,799	14,070	0	資源配分	B：現状維持	
講座・行事等開催事業 (青人)	講座・行事参加延べ人数			999	1,203	1,233	1,361	成果	B：現状維持	感染対策の実施により、子どもまつりを実施することができた。今度もコロナ前の状態に戻すとともに子どもたちや社会のニーズにあった講座・行事となるよう努める。
	R4実績	3,757	人							
	最終目標値に対する達成率	62.6%		5,541	5,914	5,983	0	資源配分	B：現状維持	
人権啓発・交流事業 (青人)	事業総参加人数			0	0	0	0	成果	B：現状維持	前年度より、施設見学やあそびの出前の依頼が増加した。今後も広報等により事業の啓発に努め青少年の居場所・交流の拠点となる施設をめざす。
	R4実績	1,529	人							
	最終目標値に対する達成率	61.1%		3,622	4,796	4,302	0	資源配分	B：現状維持	
青少年育成支援事業 (青人)	青少年育成支援事業利用人数（延数）			782	804	852	868	成果	B：現状維持	コロナ禍を経て更にニーズが高まった奨学金相談や教育相談を引き続き実施していくとともに、児童図書や子育てセミナーの充実を図る。
	R4実績	550	人							
	最終目標値に対する達成率	110.0%		5,731	5,475	5,739	0	資源配分	B：現状維持	

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	コロナ禍により影響を受け未達成の事業が多いが、感染拡大防止対策等により最大限で事業を実施できた。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性	
担当部長の所見	コロナ禍以前と同様となるよう事業を推進し、青少年に豊かな体験活動の機会を提供し、個々の才能や創造性を育む環境づくりに努める。
担当副市長の意見	コロナ禍以前と同様となるよう事業を推進し、青少年に豊かな体験活動の機会を提供し、個々の才能や創造性を育む環境づくりに努める。